

原子力百科事典ATOMICAの運営

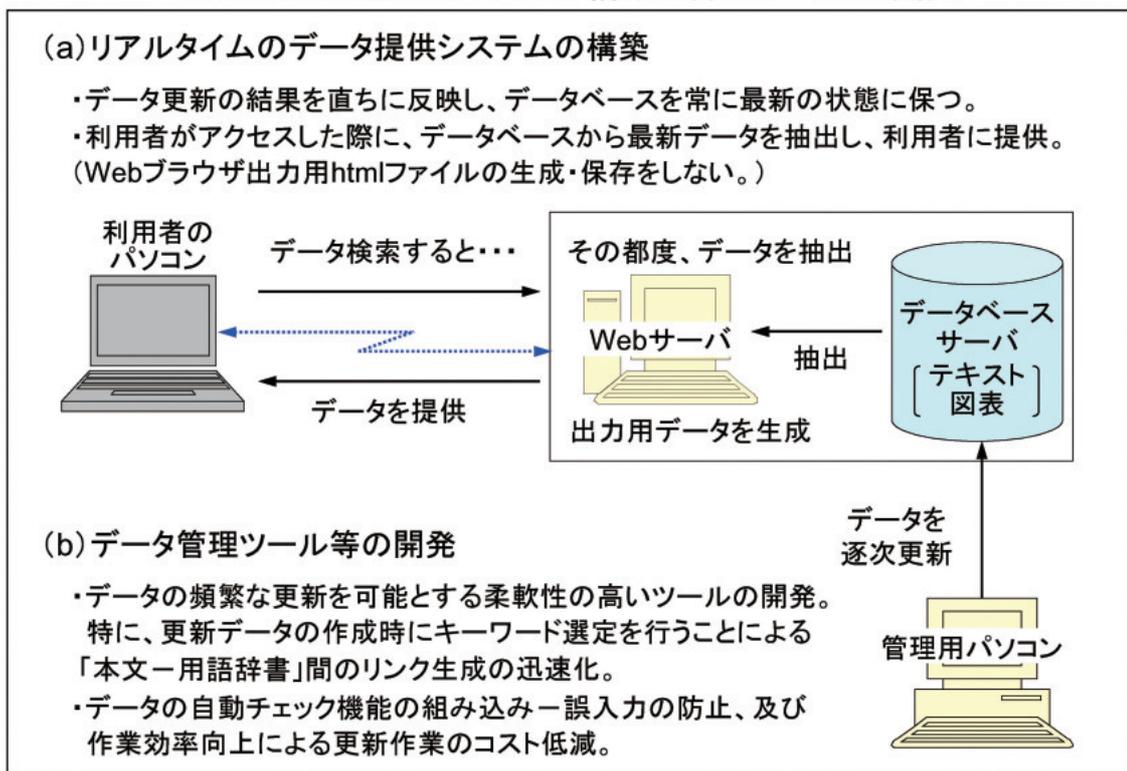
(財)高度情報科学技術研究機構
データベース部長
佐藤 治

1. ATOMICAシステム構築と管理ツールの開発

先号でもご紹介しましたが、当財団では文部科学省の許可を得て、平成21年4月から当財団のウェブサイトにおいてATOMICAを自主運営することとなりました。そこで、こ

れまでの管理・運営システムの設計を根本から見直し、データ更新をリアルタイムに反映した情報提供が可能なシステムを構築するとともに、効率的な管理ツールの開発を行うこととしました（下図参照）。

ATOMICA運用システムの構築と管理ツールの開発



2. ATOMICAデータの精査・分類

年間150件程度のペースで更新を行うことを想定して、提供データの最新性を維持し得るデータベースの規模と内容を検討しました。この目的のため、既存のATOMICAデータを個別的に精査し、データの有意性、更新の要否、その緊急性等に応じて分類を行いました。

その結果、他と内容が重複するデータ等の削除、固定する（更新対象としない）データの選定を行い、今後の更新対象データを1,100件程度に絞り込みました。更新対象データの中で緊急性が高いものを中心に、平成21年度に更新を進めています。